



2026年9月1日の電力需給

全国

△ 全国合計需要ピーク

13,692万kW

14時30分、136,921 MW
(10エリア同時刻合計)

☀ 太陽光ピーク

3,672万kW

11時30分、36,718 MW
(自家消費分除く)

≈ 風力ピーク

205万kW

20時30分、2,047 MW

◇ 再エネ最大需要比

37.5%

12時、需要に対する割合

↔ 最大受電エリア

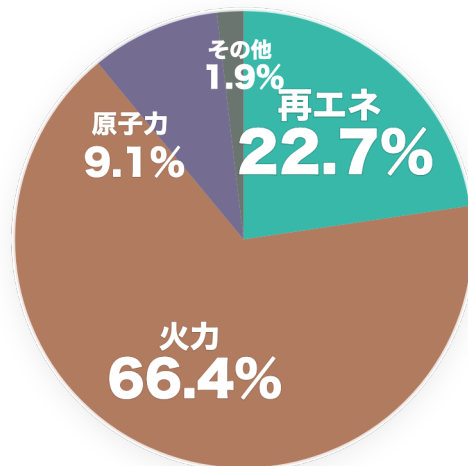
東京

117 GWh

↔ 最大送電エリア

東北

114 GWh



概況

再エネ比率トップ

北海道 48.1%

38.5 GWh

出力抑制量

0.0 GWh

最大: 北海道 0.0 GWh

揚水・蓄電の充電

45.5 GWh

発電構成比には含めない

日中の特徴

太陽光と夕方需要の時間差

多くのエリアで18-19時台に需要ピーク



- 需要ピークが最も大きかったのは東京で、16:00に3,948万kWでした。
- 再エネ比率は北海道が最も高く、発電電力量ベースで48.1%でした。
- 出力抑制は確認されませんでした。

項目	値	補足
再エネ発電 量比率	22.7%	発電電力量ベース
再エネ発電 量	613 GWh	太陽光・水力・風力・バ イオマス・地熱
総発電電力 量	2,708 GWh	発電構成比の分母
再エネ最大 需要比	37.5%	12時
出力抑制量	0.0 GWh	最大: 北海道
揚水・蓄電 の充電	45.5 GWh	発電構成比には含めない

エリア	再エネ比率	再エネ発電量 (GWh)	出力抑制 (GWh)	連系線・ その他 (GWh)
北海道	48.1%	38.5	0.0	送電 8.0
東北	28.3%	92.7	0.0	送電 114
東京	14.7%	101	0.0	受電 117
中部	25.8%	94.7	0.0	受電 60.9
北陸	35.8%	33.4	0.0	送電 5.3
関西	18.3%	80.4	0.0	受電 59.8
中国	23.1%	49.9	0.0	送電 17.7
四国	24.1%	28.2	0.0	送電 31.9
九州	26.4%	92.1	0.0	送電 37.9
沖縄	9.3%	2.8	0.0	—



2026年9月1日の供給実績

北海道エリア

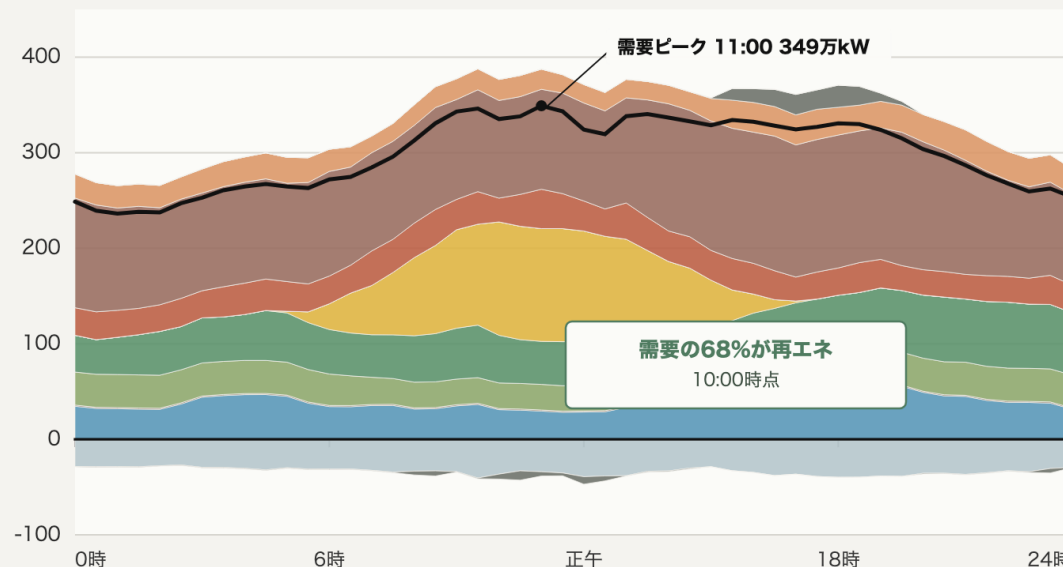
再エネ

38.5GWh

(発電電力量ベース48.1%)

北海道エリア 2026年9月1日の供給実績（残余需要方式）

万kW



発電構成比

総発電電力量: 80GWh
(800万kW)

再エネ	38.5GWh (48.1%)
太陽光	8.6GWh (10.7%)
水力	9.5GWh (11.9%)
風力	12.5GWh (15.7%)
バイオマス	7.5GWh (9.4%)
地熱	0.3GWh (0.4%)
LNG火力	7.4GWh (9.2%)
石炭火力	27.4GWh (34.3%)
石油等火力	6.0GWh (7.5%)
原子力	0.0GWh (0.0%)
揚水・蓄電	0.7GWh (0.9%)
以下は発電構成に含まれない	
揚水・蓄電の充電	
連系線受電・送電・その他	
需要	

出典: 北海道電力ネットワーク公表のエリア需給実績データ (2026年9月CSV)

各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。残余需要=エリア需要-水力-地熱-バイオマス-太陽光-風力。

総発電電力量

80.0GWh

需要ピーク

11:00、349万kW

連系線・その他

8.0GWhの送電

揚水・蓄電の充電

0.3GWh

出力抑制

0.0GWh

概況

北海道は、太陽光ピーク119万kW、風力ピーク69万kWで、時間別の再エネ最大需要比は67.9%だった。



2026年9月1日の供給実績

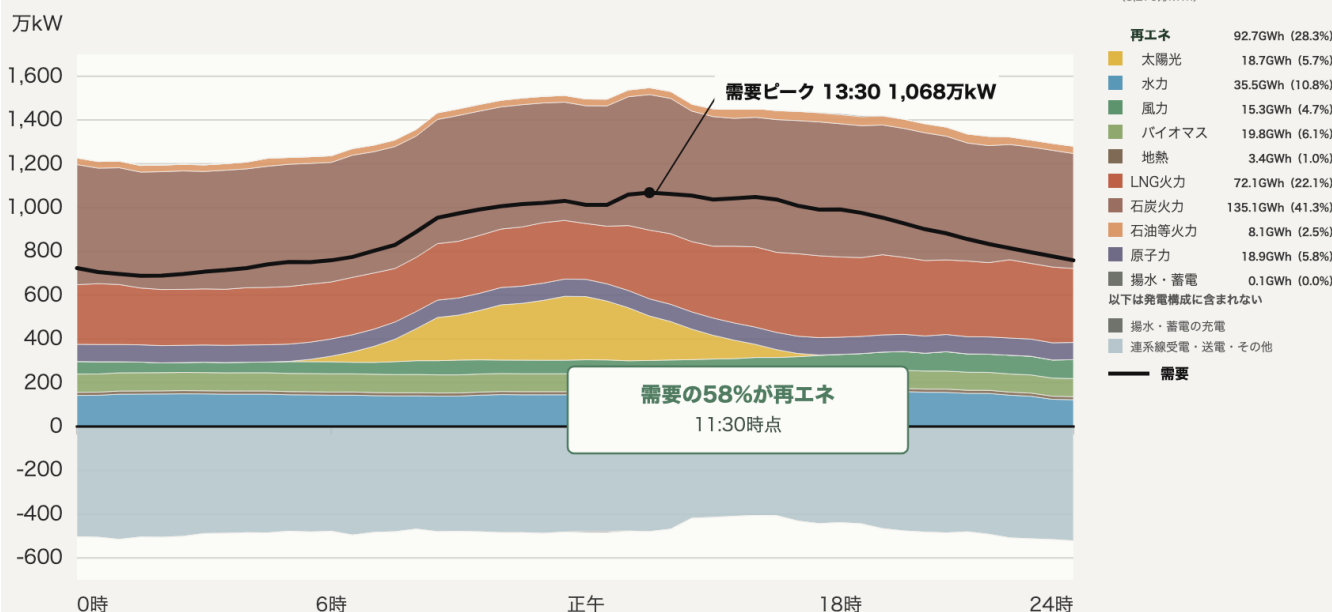
東北エリア

再エネ

92.7GWh

(発電電力量ベース28.3%)

東北エリア 2026年9月1日の供給実績（残余需要方式）



出典: 東北電力ネットワーク公表のエリア需給実績データ（2026年9月CSV）

各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。残余需要=エリア需要-水力-地熱-バイオマス-太陽光-風力。

総発電電力量

327.0GWh

需要ピーク

13:30、1,068kW

連系線・その他

114.3GWhの送電

揚水・蓄電の充電

0.1GWh

出力抑制

0.0GWh

概況

東北は、太陽光ピーク292万kW、風力ピーク88万kWで、時間別の再エネ最大需要比は58.6%だった。



2026年9月1日の供給実績

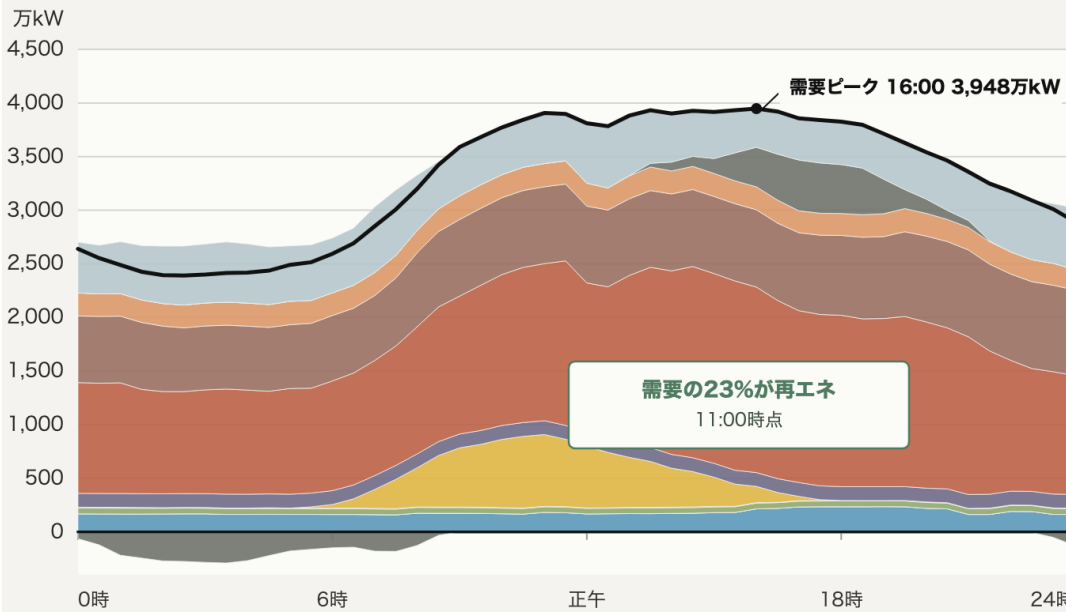
東京エリア

再エネ

100.8GWh

(発電電力量ベース14.7%)

東京エリア 2026年9月1日の供給実績（残余需要方式）



発電構成比

総発電電力量: 688GWh
(6,880万kWh)

再エネ	100.8GWh (14.7%)
太陽光	43.1GWh (6.3%)
水力	43.7GWh (6.4%)
風力	1.3GWh (0.2%)
バイオマス	12.8GWh (1.9%)
地熱	0.0GWh (0.0%)
LNG火力	317.4GWh (46.1%)
石炭火力	167.8GWh (24.4%)
石油等火力	50.9GWh (7.4%)
原子力	31.0GWh (4.5%)
揚水・蓄電	20.2GWh (2.9%)
以下は発電構成に含まれない	
揚水・蓄電の充電	
連系線受電・送電・その他	

出典: 東京電力パワーグリッド公表のエリア需給実績データ (2026年9月CSV)

各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。残余需要=エリア需要-水力-地熱-バイオマス-太陽光-風力。

総発電電力量

688.0GWh

需要ピーク

16:00、3,948万kW

連系線・その他

117.0GWhの受電

揚水・蓄電の充電

17.9GWh

出力抑制

0.0GWh

概況

東京は、太陽光ピーク669万kW、風力ピーク8万kWで、時間別の再エネ最大需要比は23.3%だった。



2026年9月1日の供給実績

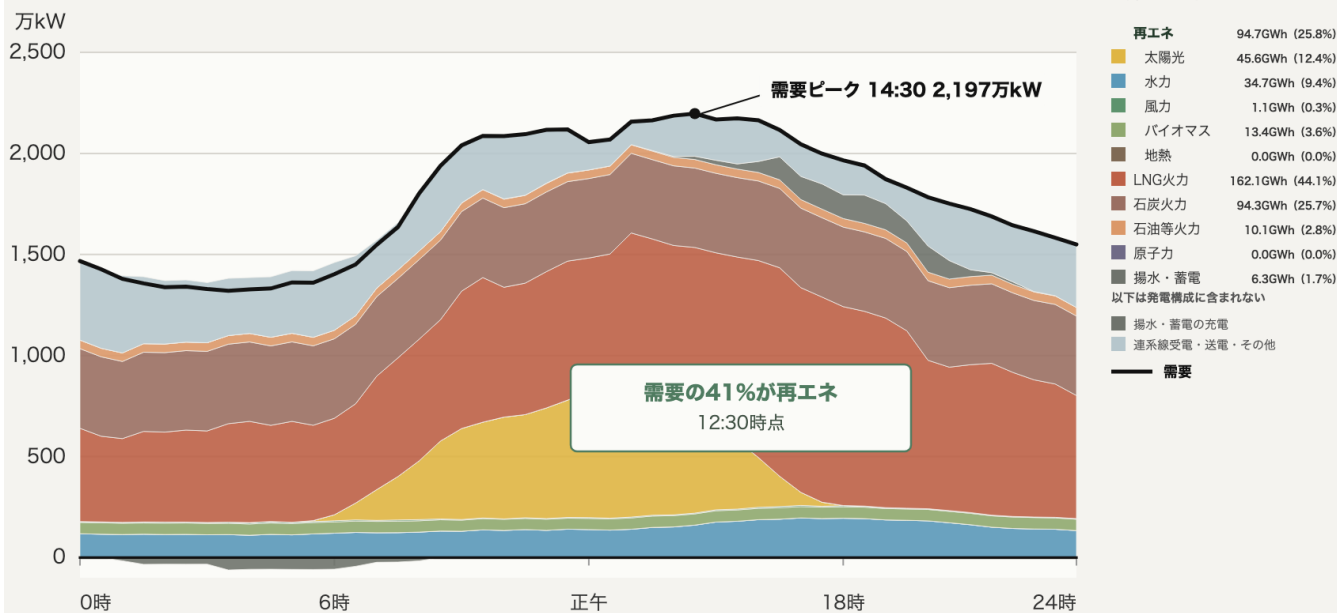
中部エリア

再エネ

94.7GWh

(発電電力量ベース25.8%)

中部エリア 2026年9月1日の供給実績（残余需要方式）



出典: 中部電力パワーグリッド公表のエリア需給実績データ (2026年9月CSV)

各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。残余需要=エリア需要-水力-地熱-バイオマス-太陽光-風力。

総発電電力量

367.6GWh

需要ピーク

14:30、2,197万kW

連系線・その他

60.9GWhの受電

揚水・蓄電の充電

3.0GWh

出力抑制

0.0GWh

概況

中部は、太陽光ピーク659万kW、風力ピーク7万kWで、時間別の再エネ最大需要比は41.3%だった。



2026年9月1日の供給実績

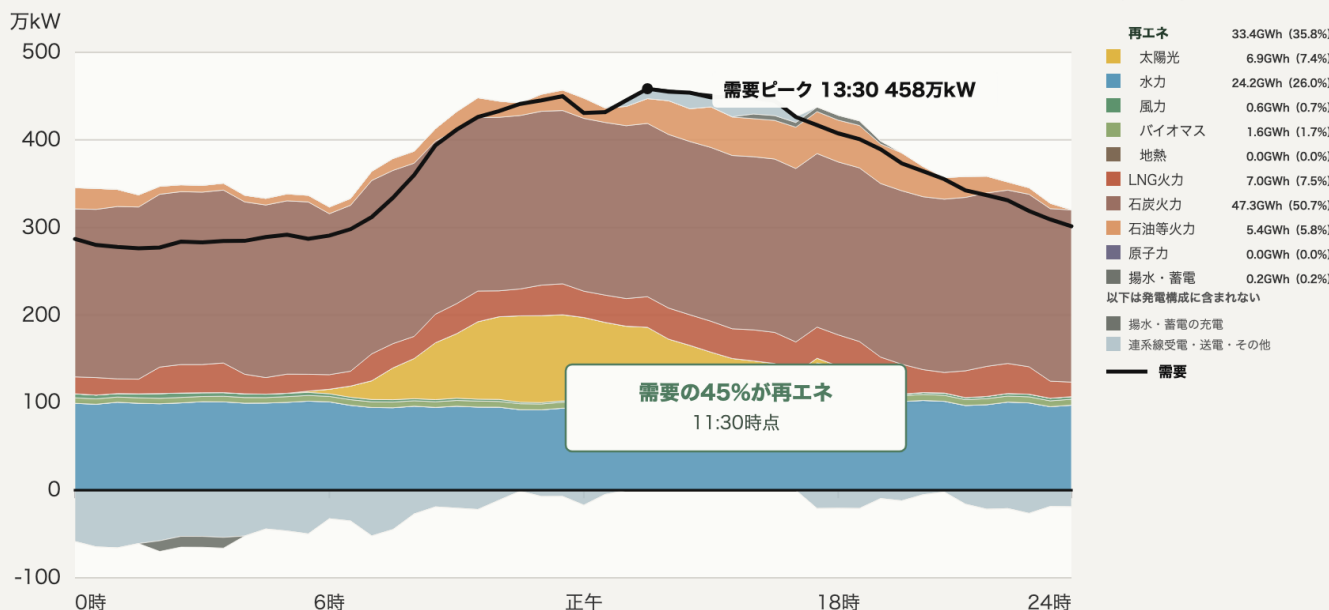
北陸エリア

再エネ

33.4GWh

(発電電力量ベース35.8%)

北陸エリア 2026年9月1日の供給実績（残余需要方式）



出典: 北陸電力送配電公表のエリア需給実績データ（2026年9月CSV）

各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。残余需要=エリア需要-水力-地熱-バイオマス-太陽光-風力。

総発電電力量

93.2GWh

需要ピーク

13:30、458万kW

連系線・その他

5.9GWhの送電

揚水・蓄電の充電

0.2GWh

出力抑制

0.0GWh

概況

北陸は、太陽光ピーク99万kW、風力ピーク5万kWで、時間別の再エネ最大需要比は45.8%だった。



2026年9月1日の供給実績

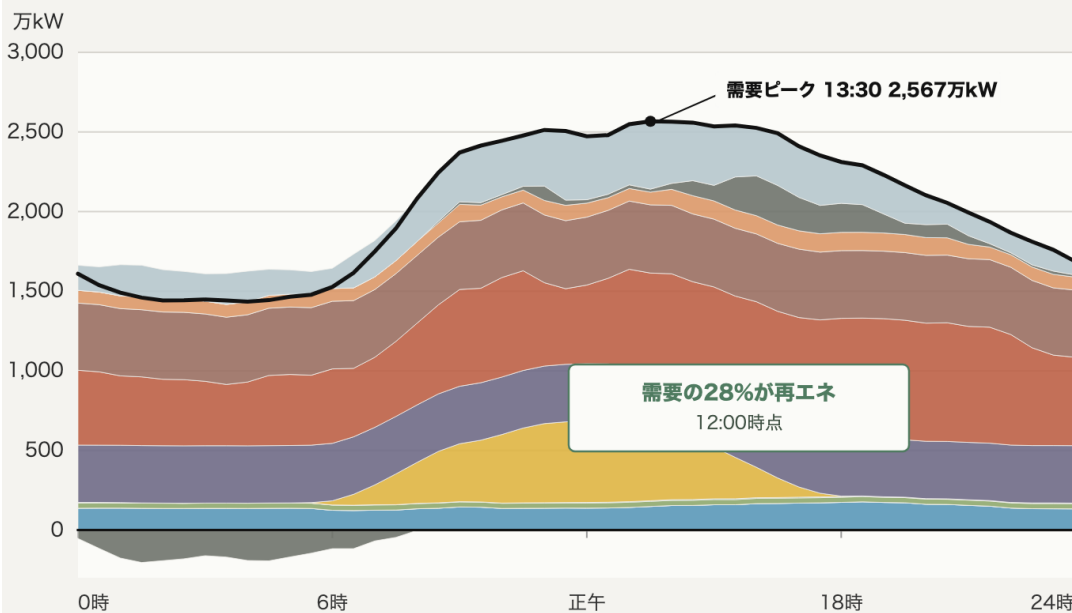
関西エリア

再エネ

80.4GWh

(発電電力量ベース18.3%)

関西エリア 2026年9月1日の供給実績（残余需要方式）



発電構成比

総発電電力量: 441GWh
(4,407万kW)

再エネ	80.4GWh (18.3%)
太陽光	37.2GWh (8.4%)
水力	34.9GWh (7.9%)
風力	0.6GWh (0.1%)
バイオマス	7.8GWh (1.8%)
地熱	0.0GWh (0.0%)
LNG火力	137.3GWh (31.2%)
石炭火力	101.9GWh (23.1%)
石油等火力	22.1GWh (5.0%)
原子力	86.5GWh (19.6%)
揚水・蓄電	12.3GWh (2.8%)
以下は発電構成に含まれない	
揚水・蓄電の充電	
連系線受電・送電・その他	

出典: 関西電力送配電公表のエリア需給実績データ（2026年9月CSV）

各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。残余需要=エリア需要-水力-地熱-バイオマス-太陽光-風力。

総発電電力量

440.7GWh

需要ピーク

13:30、2,567万kW

連系線・その他

59.8GWhの受電

揚水・蓄電の充電

11.5GWh

出力抑制

0.0GWh

概況

関西は、太陽光ピーク511万kW、風力ピーク5万kWで、時間別の再エネ最大需要比は27.7%だった。



2026年9月1日の供給実績

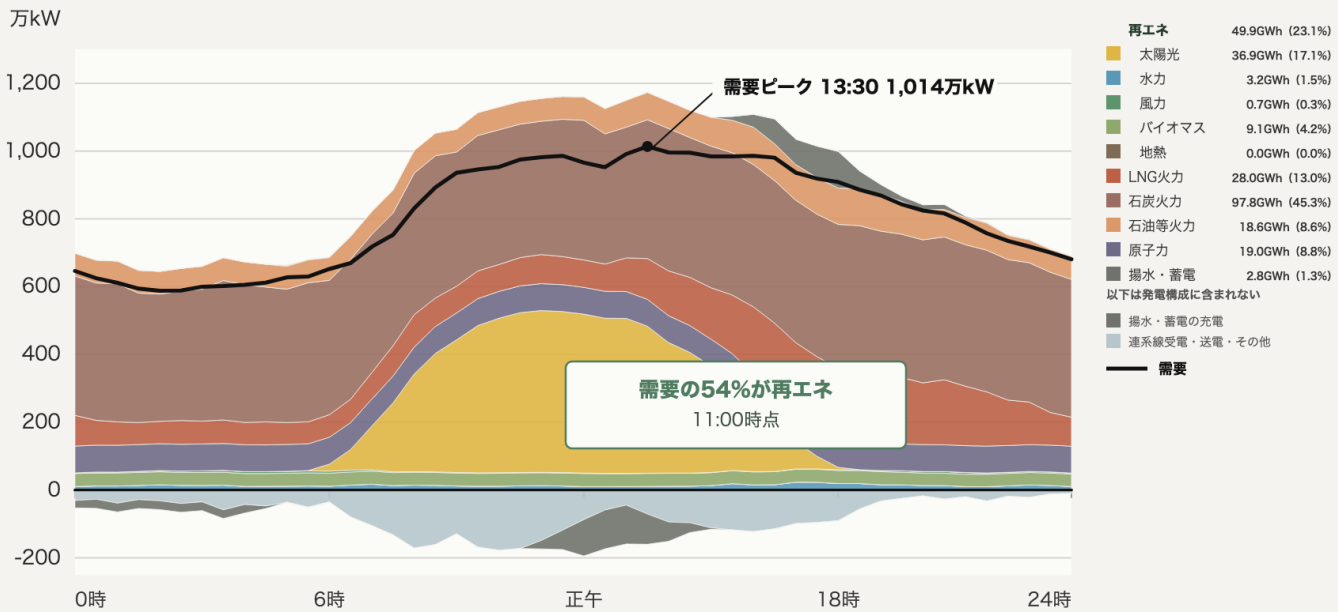
中国エリア

再エネ

49.9GWh

(発電電力量ベース23.1%)

中国エリア 2026年9月1日の供給実績（残余需要方式）



出典: 中国電力ネットワーク公表のエリア需給実績データ（2026年9月CSV）

各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。残余需要=エリア需要-水力-地熱-バイオマス-太陽光-風力。

総発電電力量

216.1GWh

需要ピーク

13:30、1,014万kW

連系線・その他

17.7GWhの送電

揚水・蓄電の充電

4.2GWh

出力抑制

0.0GWh

概況

中国は、太陽光ピーク477万kW、風力ピーク6万kWで、時間別の再エネ最大需要比は53.9%だった。



2026年9月1日の供給実績

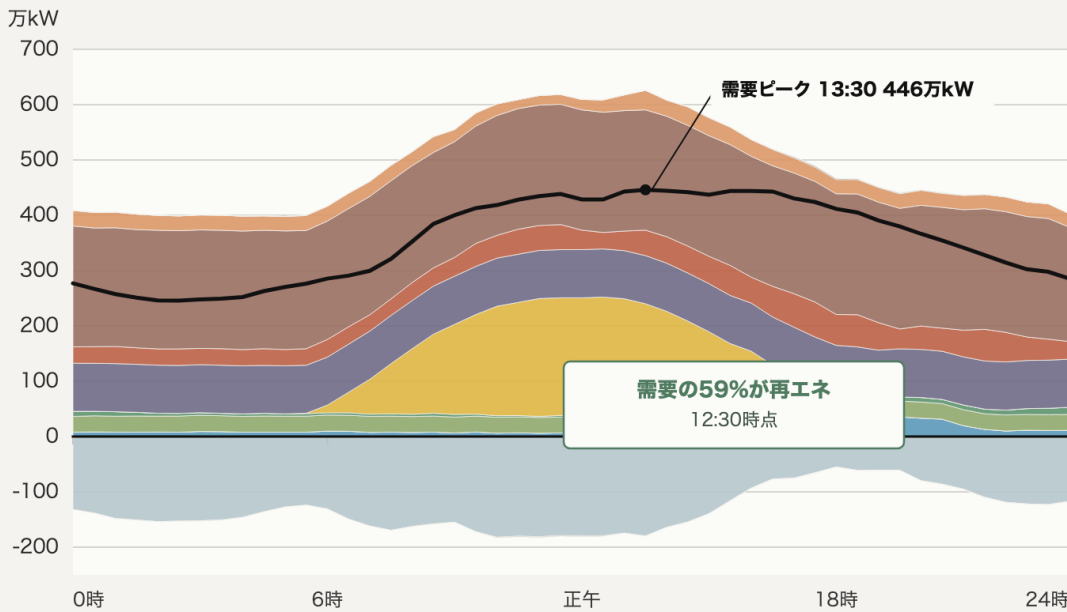
四国エリア

再エネ

28.2GWh

(発電電力量ベース24.1%)

四国エリア 2026年9月1日の供給実績（残余需要方式）



発電構成比

総発電電力量: 117GWh

(1,169万kWh)

再エネ	28.2GWh (24.1%)
太陽光	16.3GWh (14.0%)
水力	3.7GWh (3.1%)
風力	1.4GWh (1.2%)
バイオマス	6.9GWh (5.9%)
地熱	0.0GWh (0.0%)
LNG火力	9.6GWh (8.2%)
石炭火力	51.8GWh (44.3%)
石油等火力	6.3GWh (5.4%)
原子力	20.9GWh (17.8%)
揚水・蓄電	0.1GWh (0.1%)
以下は発電構成に含まれない	
揚水・蓄電の充電	
連系線受電・送電・その他	

出典: 四国電力送配電公表のエリア需給実績データ（2026年9月CSV）

各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。残余需要=エリア需要-水力-地熱-バイオマス-太陽光-風力。

総発電電力量

117.0GWh

需要ピーク

13:30、446万kW

連系線・その他

31.9GWhの送電

揚水・蓄電の充電

0.0GWh

出力抑制

0.0GWh

概況

四国は、太陽光ピーク213万kW、風力ピーク13万kWで、時間別の再エネ最大需要比は58.9%だった。



2026年9月1日の供給実績

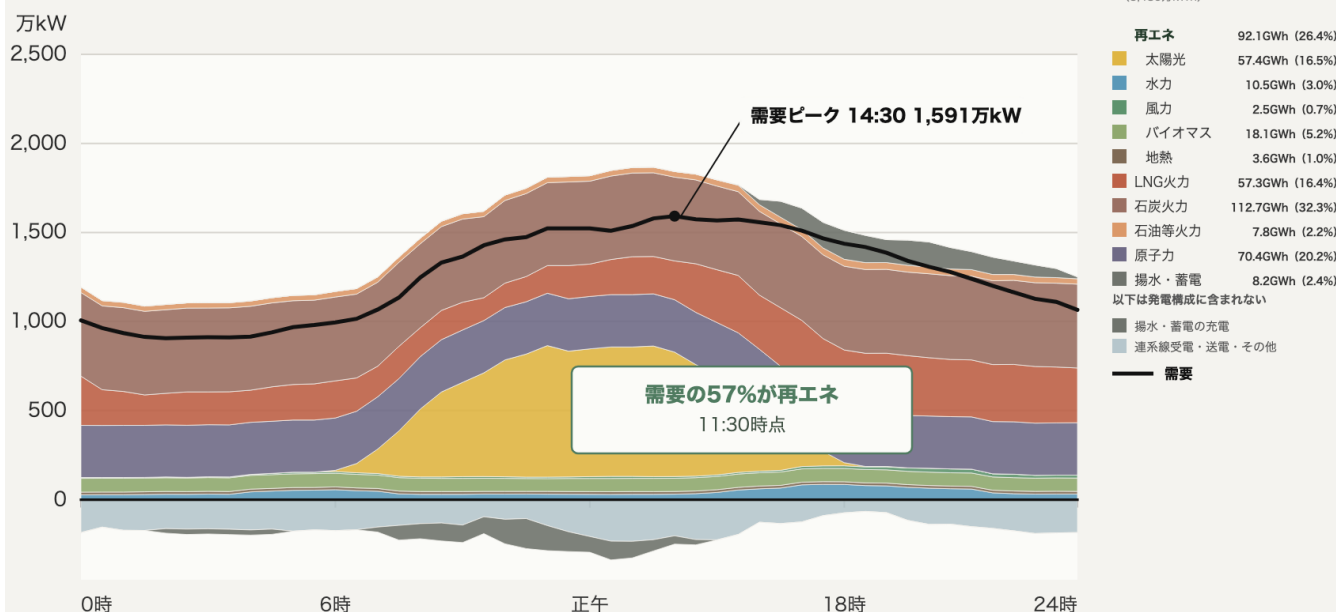
九州エリア

再エネ

92.1GWh

(発電電力量ベース26.4%)

九州エリア 2026年9月1日の供給実績（残余需要方式）



出典: 九州電力送配電公表のエリア需給実績データ（2026年9月CSV）

各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。残余需要=エリア需要-水力-地熱-バイオマス-太陽光-風力。

総発電電力量

348.5GWh

需要ピーク

14:30、1,591万kW

連系線・その他

37.9GWhの送電

揚水・蓄電の充電

8.2GWh

出力抑制

0.0GWh

概況

九州は、太陽光ピーク738万kW、風力ピーク22万kWで、時間別の再エネ最大需要比は56.8%だった。



2026年9月1日の供給実績

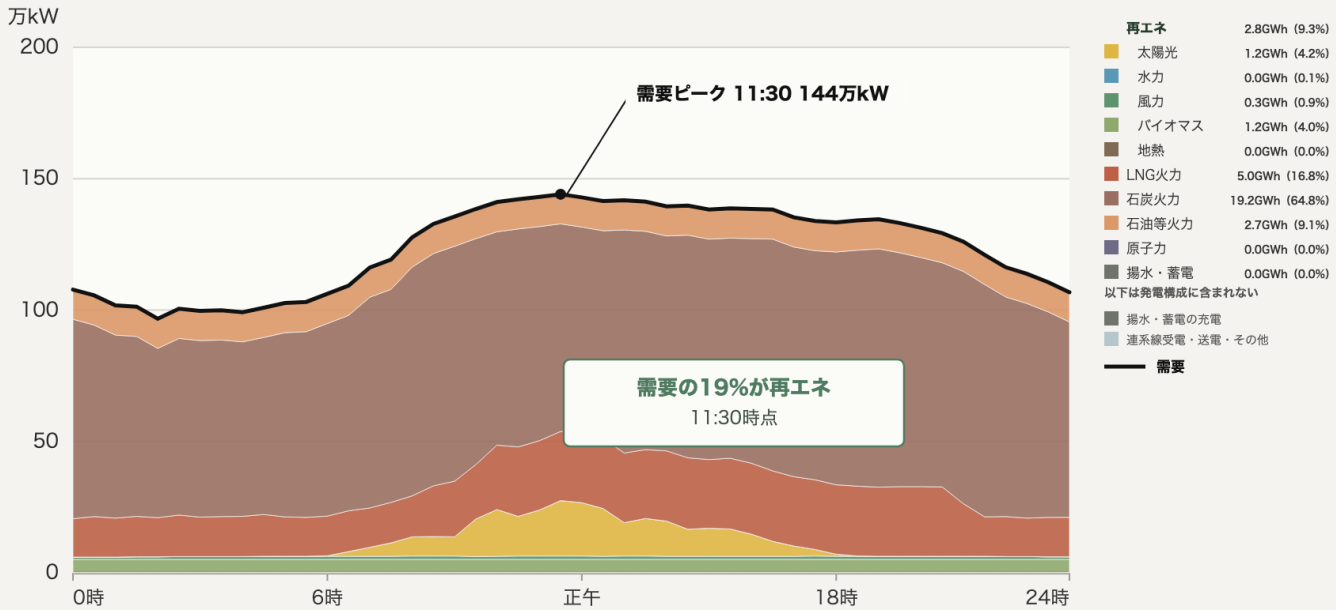
沖縄エリア

再エネ

2.8GWh

(発電電力量ベース9.3%)

沖縄エリア 2026年9月1日の供給実績（残余需要方式）



出典: 沖縄電力公表のエリア需給実績データ（2026年9月CSV）

各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。残余需要=エリア需要-水力-地熱-バイオマス-太陽光-風力。

総発電電力量

29.7GWh

需要ピーク

11:30、144万kW

連系線・その他

0.0GWh

揚水・蓄電の充電

0.0GWh

出力抑制

0.0GWh

概況

沖縄は、太陽光ピーク21万kW、風力ピーク1万kWで、時間別の再エネ最大需要比は19.1%だった。